

走行チェックシート

日付	2008年4月6日(日)		時間	~	イベント	全日本ロードレース選手権 R1		
天気	晴		マシン	GSX-R600 K8	ライダー	行方 知基 / 新庄 雅浩		
コース	名称	ツインリンク もてぎ			気温	15		
	コンディション				気圧	1003 hpa		
	路面温度	36	(計測時間)		湿度	39 %		
エンジン	スパークプラグ	NGK		エンジンOIL	シェル アドバンス			
	ファイナルレシオ	15 x 45						
トランスミッション	1st	39/14	2.785	4th	36/24	1.5		
	2nd	39/19	2.052	5th	31/23	1.347		
	3rd	36/21	1.714	6th	29/24	1.208		
フロント	パーツ名	行方STDモデファイ / 新庄オーリンズ		TEN	-9 / -9			
	スプリング	9.75(STD) / 9.75	N/m	OIL				
	自由長	mm		油面	117 / 183	mm		
	イニシャル	8 / 12	mm	残ストローク	10	mm		
	COMP	-1/4 / -1		突き出し	5	mm		
リア	パーツ名	行方STDモデファイ / 新庄オーリンズ		TEN	-1 3/4 / -8			
	スプリング	98(STD) / 105	N/m	残ストローク	30	mm		
	自由長	196 / 159	mm	リンク	(STD)			
	イニシャル	12.5 / 11	mm	リンクロッド	180(STD)	mm		
	COMP(HI)	-2 1/2 / オーリンズ なし		車高	1 / 3	mm		
	COMP(LO)	-3/8 / -3						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ スポーツMAX GP (R3)		銘柄	ダンロップ スポーツMAX GP (R1)			
	サイズ	120/70R/17		サイズ	180/55R/17			
	エア圧	2.1 (走行後2.4)		エア圧	1.8 (走行後2.35)			
チェック	順位	30 / 23	位	ベストラップ	1 59 840 / 1 59 810			
	水温				油温			
	ガソリン	IN				走行距離	km	
		OUT				燃費	km/	

<コメント>
 2008年も徐々に暖かくなってきて……さぁ！待ちに待った全日本ロードレースもついに！！開幕です！！みなさん、お久しぶりです。お元気でしたか？
 MOTO MAP SUPPLYは、JSB1000のエース波多野 祐樹を筆頭に、ST600はヨシムラがえりの全日本2年目、行方(なめかた)知基！！そして、昨年
 筑波、茂木ダブルタイトル達成のスーパールーキー！新庄 雅浩！！の計3名のライダーで、戦って行きます！！そして、今年もスーパーアードバイ
 ザーは言わずと知れた、世界チャンピオン 北川 圭一さんです。どうぞ、応援よろしく願います。
 と、言うわけで第一戦が4月3日~6日に行なわれました。
 結果は…予選30位、32位と、う〜ん言う順位でしたが…。2人ともスタートで、1気に25、26位にジャンプアップ！！
 よしっっ！このまま上がって行け！！と、思ったつかの間…2周目…ん〜新庄24位…行方の姿がないっ。帰ってこない。あれれと思ったら、最後
 尾か2番目！！な〜にやっとなんじゃ、失敗しやがったな！！と、レース中に追い上げながら、なかなか切れそうで切れなかった2分の、壁をぶち破
 り1分59秒台に突入。(怪我の功名ってやつか?)そして、新庄のほうも2分を切ったの走行。2人とも、それを練習からやれよ〜。と誰かの呟き…。
 とま〜レースは終わり、新庄は、23位 行方は、30位と2人とも課題の残る結果に終わりました。
 行方は、もともとスタート直後に走っていた集団より、中盤以降少し速いペースで走っていたので、もう少し自分なりに、違うものが見れていたはず。
 新庄は自分が育ったコースなので、ノービスの頃に切れそうで切れなかった2分を切ることができ、レベルUPが出来たとは言え、悔しさが残るレースと
 なり、全日本の厳しさを知ったでしょう。(茂木では負けた事が無いのですから)
 ということで、今回は練習から、レースに出るまでのやりかた、というか心構えを考えて見ましょう。
 我がRACING SUPPLYにも、ST600だけでも、未来の全日本、いや！世界GPを目指し日々頑張っている、クラブ員が10数名あります。行方も新庄もク
 ラブ員卒業生なのです。その、クラブ員達がよくセッティングや走り方を聞いて来るのですが、ただ、今の現状だけをなんとかしようとして、セッティング
 をし、オートバイ任せに速くならうとしている事が多く思えます。
 今のST600のベースになるスポーツバイクは、各メーカーさんが自信をもって世の中に送り出し、ある程度の技量があるライダーならフルスタンダード
 でも地方選手権の、ポイント圏内を走れるぐらいのタイムが出せるオートバイになっています。現にクラブ員の中には、メーカー出荷時の状態でそれく
 らいのタイムを出しているライダーもいます。それが良いというわけではないですが、もっと、先を見越して曲がる、曲がらないではなく、もっとプレーキ
 で突っ込んでみて、もっと、サスペンションを動かしてみ、挙動を出しているの走りに耐えられるのか、耐えられないのか、を判断してみてください。練習
 の仕方レースになると、ベストタイムが出るのに練習では1秒も2秒も遅いタイムでは、せっかく詰めてきたタイムや技量ももったいなく、せっかく合わ
 せたセッティングも違うものに成って行きます。当然、タイムが上がればサスペンションは、遅いときより使うところが深くなり、入るスピードも早くなり、
 練習では余裕があったものが、駄目になりそれがレース中だとしたら、大変もったいないことになります。レース中にタイムが上がるとしたら、1発だとし
 ても自分自身のタイムなのですから、練習でも、そのタイムができれば次のレースあるいは練習でももっと速く走れ、そのタイムに見合ったセッティ
 ング、できる様にはなりません。練習はレースまでの準備期間なので、レース中には出来ないことをきちんとやって、後悔しないようにしまし
 と、まっ言っても私自信できるかどうかは、ノーコメントです。というわけで話を戻しまして、全日本ST600 行方、新庄は今回悔しい結果では、あり
 ましたが2人ともレース後の話では練習、セッティング、意気込みでも、きっちりと課題と反省点を、前向きで言っておりましたので今後の2人の成長に、
 期待したいと思えます。2人ともまだまだ、速くなりますよ〜。次は2人にとってのホームコース、いや！庭と言っても過言じゃない！！筑波サーキット
 です。気合をいれてがんばるぞ〜。みなさん、今年1年、ST600 行方 知基、新庄 雅浩、そして、忘れちゃいけない我がチームのエース、世界
 チャンピオンのDNAを受け継ぐ男??? JSB1000ライダー 波多野 祐樹 この3名のライダーとMOTO MAP SUPPLYを応援よろしく願います。
 RACING SUPPLY 吉川 純治